

2020年12月9日

船橋市長 松戸 徹 様

## 新型コロナウイルス感染拡大対策に関する緊急の要望書

日本共産党船橋市議団  
代表 岩井 友子

新型コロナウイルス感染症の「第3波」で、感染者は増え続け、市内でも「介護老人保健施設なつみの郷」で感染者のクラスターが発生しました。

感染の爆発的拡大を抑止し、医療崩壊を招かないための抜本的な対策強化が必要です。そのため「病院・介護施設等への社会的検査」など、以下の項目の実施を求めます。

### 記

1. 医療機関、介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校、放課後ルームなど、クラスターが発生すれば多大な影響が出る施設等に定期的な「社会的検査」を行うこと。  
特に「全額国庫負担による検査」とするよう、国に強く要請すること。
2. 命にかかわる医療・介護施設等のクラスターをこれ以上発生させないために、緊急に医療・介護施設等の従事者へのPCR検査を実施すること。
3. 65歳以上の人や基礎疾患のある人を対象に、希望者は無症状でもPCR検査を受けられる体制を整備すること。
4. 感染追跡を専門に行うトレーサーを確保し、保健所の体制を強化すること。
5. 「医療崩壊」を防ぐため、医療機関への減収補填、宿泊施設のさらなる確保を行うこと。
6. 千葉県が東葛地区の飲食店に午後10時以降の酒類提供の自粛を要請しているが、補償とセットで行わなければ、コロナで苦境に立つ事業者をさらに追い詰めることになる。県に事業者への補償を要望すると共に、市独自の対策を検討すること。  
1月15日に申請期限を迎える「船橋市事業継続支援助成金」の期限延長を行うこと。
7. 雇用調整助成金、休業支援金、持続化給付金、家賃支援金などの期限延長を国に要請すること。

以上